

【育児休暇を終えて】父親として夫として、そして市長として大切な5日間でした。

4月23～28日の育児休暇取得において、私自身、感じた事、気づいた事が沢山ありました。

今回のブログで、育児休暇の振り返りを行います。

まず第一声は、『めっちゃめっちゃ疲れたけど、育児休暇を取得し本当に良かった！』です。

育児休暇の5日間は、私がこれまで経験したことの無い世界でした。

まず、生後2カ月の三男のそばに5日間寄り添えたことは、恐らく人生で最初で最後のかけがえの無い経験でした。

また、今回の育児休暇は家事にも積極的に取り組みました。

当初の「全ての家事・育児を一人でやる！」という目標は完璧には達成出来ませんでした。出来る限りそれに近づけるように人生史上最も家事に全力を投じた期間となりました。

日頃、妻が担ってくれている家事の大変さを身をもって感じる事が出来ました。

私は、これまで家事に全く関わってこなかった夫でした。

そもそも、家事とはどこからどこまで、日々何をしなければならぬという所の認識も希薄でした。

育児休暇には様々な取得の仕方がありますが、私は連続5日間徹底して家事・育児に取り組むという休暇の取り方で良かったと思っています。

家事全体の負担感を体感・共有出来たという事は、今後の妻のサポートをしていく上でも大きかったです。



また、三男以外にも長男・次男・そして妻とも多くの会話をしました。

家族の良さを再認識させてもらった5日間でした。

体験記でも書きましたが、私自身、5日間の家族旅行に行っている様でした。

私にとって非日常、特別な時間、かけがえの無い時間だったと思います。

この非日常の経験をこれからは如何に日常に落とし込んでいけるかが大切です。

少しでも家族の一員として家事・育児に積極的に取り組んでいこうと思っています。

更に、これから「子育て施策」を進めていく市長としても多くの貴重な経験をしました。

育児相談室「すくすくルーム」にも利用者として初めて訪れましたし、予防注射の手続きや仕組みについても理解が進みました。

ワンオペ育児で悩みを抱える家庭の現状等、行政の子育て対策についても考えさせられました。

父親として夫として、そして市長として貴重な経験を積むことの出来た5日間でした。

この経験を、家庭そして市政に活かしていきたいと思っています。